

技術・家庭科[家庭分野]

浦上千歳

I 研究の経緯

1 昨年度の研究

学習指導要領・改善の基本方針の中で、家庭科については、社会の変化に対応しながらも自立的に生きる基礎を培うことを重視し、小中の内容が体系化されている。本校でも研究主題「学びがつながる授業づくり」に基づき、小・中の「学びのつながり」をスムーズにするために、Ⅱ期の小学校家庭科で科学的な視点を取り入れた学習を足場づくりとして行い、Ⅲ期の生活を科学的にとらえた実践に基づいて課題をもってとらえなおす力をつけていく学習を仕組んできた。一昨年度の取組みの中で、科学的思考を取り入れることで生活実践力の高まりがみられることが分かった。そして、Ⅱ期をさらに前期と後期に分け、家庭科教育5年間における学びのつながりを図式化し整理することができた。また、どの時期にどの視点の科学的思考を重点的に取り入れるのかについて系統立てることもできた。そして昨年度の取組みでは、科学的思考の材料として、文化的・伝統的視点を取り入れた学習が、課題を持ってよりよい生活を創造していこうとする意欲を高め、課題を持って生活をとらえ直す生活実践力をつけることにつながることがわかった。

2 今年度の研究

本年度は、「衣生活」の領域に焦点化して、小・中学校の学びにつながる授業のあり方を探る。ただし、本年度は小学校家庭科の専任教諭が不在なため、Ⅲ期を中心に研究を進めた。昨年度取り組んだ「文化的・伝統的な視点」からのアプローチと生活実践力の高まりについて、さらに研究を深め3年次としてまとめていく。その際、自分から近接環境へ、さらに遠隔環境へと生活空間及び意識を横軸、過去から現在への時間的空間を縦軸として、衣の基礎的・基本的な知識や技能の習得する中で「表現・コミュニケーション力」を育成することを目標としている。

3 中学校卒業時のめざす生徒像

科学的な見方や考え方ができ、自己の生活の自立ができる生徒

○生活を科学的にとらえる能力（知識・技能・思考力・表現力）・態度がある。

○家庭生活および家庭の機能についての理解が深まっており、知識が体系化している。

（＝科学的概念が形成されている）

○いろいろな事象に対して、これらを総合的に活用することができ、これからの生活を展望し、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度が身についている。

II 本年度の研究計画

1 授業仮説

Ⅱ期(小学校5年生～中学校1年生)

小学校5年…生活を科学的な視点から見つめ直しできる・わかることをふやし生活に生かす学習

小学校6年～中学校1年…生活を科学的な見方・考え方でとらえ自ら工夫して生活を改善する学習

Ⅲ期(中学校2～3年生)

中学校2～3年…生活を科学的にとらえた実践に基づいて、課題をもって生活をとらえ直す学習
(思考、判断し、表現する)

Ⅱ期、Ⅲ期それぞれにおいて、以上の視点を踏まえて授業を行うことで、中学校卒業時には生活を「科学的な見方や考え方」でとらえることができ、課題をもってよりよい生活を創造していこうとする生徒になるのではないかと考えた。

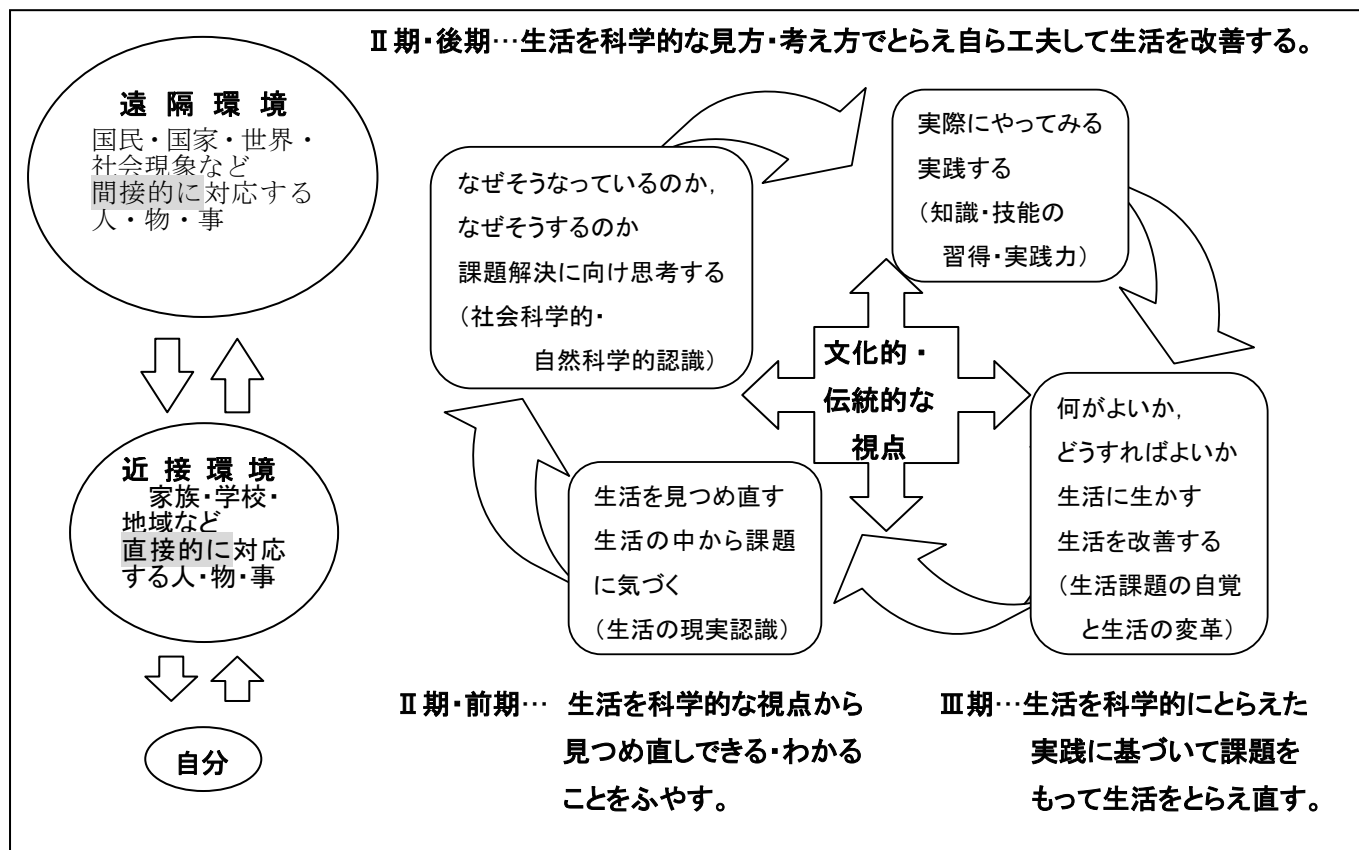


図1 家庭科におけるⅡ期・Ⅲ期の学びのつながり

表1 学習方法の科学的な視点

Ⅱ期	小学校5年生	・具体物を使った説明 ・丁寧な直接体験での技能習得 ・今までの生活を科学的な視点から見つめ直す学習
	小学校6年生 中学校1年生	・データ(数値)やグラフからの思考・考察 ・推論を行ってからの実技体験 ・文化的・伝統的な視点を取り入れた学習 ・個別の生活経験・様式を一般化、概念化
	中学校2年生 中学校3年生	・理論を取り入れた学習 ・文化的・伝統的な視点の活用 ・これまでの学習で習得した知識・技能を活用した実技体験と発信 ・地域社会と家庭生活のかかわりをふまえた学習による概念化

2 研究の目的

Ⅲ期(中学校2～3年生)

日常生活に必要な衣食住に関する基礎的・基本的な知識及び技能の習得，家庭の機能についての理解において，自己の課題から生活を見直し体験的な活動を行うと，「科学知」と「生活知」の「のぼりおり」をさせる中学校家庭科の授業が，科学的概念に基づく抽象的思考を行う場面で有効にはたらき，「学びの深化へ」繋がるという授業仮説を検証する。3年目となる本年度は、「文化的・伝統的な視点」を取り入れることで，先人からの知恵から生活知と科学知ののぼりおりや知を繋げるネットワークが進化し，さらに日本の誇る「和」の文化を海外に発信できる総合的な力をはぐくむという授業仮説を検証する。

3 研究の方法

Ⅲ期(中学校2～3年生)

「日本の伝統色」と染色に関する学習、モン族の「布や刺繍の文化」についての学習を経て、藍染めで染められ伝統色で描かれたポケットをもつインジゴデニム地の絵本バッグを製作するという一連の検証授業を実施し、授業前後でのアンケート及び感想を分析することによって、授業仮説を検証する。

<計画>

対象：広島大学附属東雲中学校 第2学年全員（80人）

内容：伝統色、特に藍染めを中心に歴史的な学習を行う。

計画：6月・・・中学2年生に色アンケート実施

9月～10月初旬・・・きものの歴史的内容の授業

藍染めと伝統色を使った手提げバックの製作

11月中旬・・・事後アンケート実施，分析，考察